

富山市教育委員会 1 月定例会 資料

富山市文化財調査審議会委員

【定数 18名】

任期 平成30年2月1日～平成32年1月31日

新委員

		氏名	推薦団体等	役職名
1		高橋 浩二	学識経験者(史跡)	富山大学准教授
2		西井 龍儀	学識経験者(考古)	富山考古学会会長
3		久保 尚文	学識経験者(中世)	地方史研究協議会理事
4		米原 寛	学識経験者 (歴史資料・古文書)	富山県立山博物館アドバイザー
5		鈴木 景二	学識経験者(古代)	富山大学教授
6		白岩 初志	学識経験者(有形民俗)	元滑川市立博物館長
7		安カ川 恵子	学識経験者(無形民俗)	富山民俗の会幹事
8	H30.2.1 新任	中川 美彩緒	学識経験者(美術)	富山県水墨美術館長
9		上野 幸夫	学識経験者(建造物)	職藝学院教授
10		中田 政司	学識経験者(植物)	富山県立中央植物園長
11		清水 正之	学識経験者(地質・化石)	元県立志貴野高等学校長
12		布村 昇	学識経験者(動物)	富山県生物学会顧問

●富山市文化財保護条例

第36条 法(文化財保護法)第190条の規定に基づき、富山市文化財調査審議会(以下「審議会」という。)を置く。

第37条 審議会は、委員会の諮問に応じ文化財の保存及び活用に関する重要事項について、調査審議するとともに、これらの事項について委員会に建議する。

第38条 審議会は、委員18人以内で組織する。

2 委員は、文化に関し広くかつ高い識見を有する者のうちから委員会が委嘱する。

第39条 委員の任期は2年とする。ただし、補欠の委員は、前任者の残任期間とする。

【定数 18名】

任期 平成28年2月1日～平成30年1月31日

旧委員（参考）

		氏名	推薦団体等	役職名
1		高橋 浩二	学識経験者(史跡)	富山大学准教授
2		西井 龍儀	学識経験者(考古)	富山考古学会会長
3		久保 尚文	学識経験者(中世)	地方史研究協議会理事
4	会長	米原 寛	学識経験者 (歴史資料・古文書)	富山県立山博物館アドバイザー
5		鈴木 景二	学識経験者(古代)	富山大学教授
6		白岩 初志	学識経験者(有形民俗)	元滑川市立博物館長
7		安ヶ川 恵子	学識経験者(無形民俗)	富山民俗の会幹事
8	(退任)	原口 志津子	学識経験者(美術)	富山県立大学教授
9		上野 幸夫	学識経験者(建造物)	職藝学院教授
10		中田 政司	学識経験者(植物)	富山県立中央植物園長
11		清水 正之	学識経験者(地質・化石)	元県立志貴野高等学校長
12		布村 昇	学識経験者(動物)	富山県生物学会顧問

富山市民俗民芸村運営協議会委員

【定数 10名】

任期:平成30年2月1日～平成32年1月31日

新委員

		氏名	推薦団体等	役職名
1		水木 省三	学識経験者(民芸)	日本民藝協会元常任理事
2		浅地 豊	学識経験者(美術)	森記念秋水美術館館長
3		高柳 恵理子	市PTA連絡協議会	市PTA連絡協議会副会長
4		藤木 一仁	市公民館連絡協議会	市公民館連絡協議会副会長
5		安カ川 恵子	学識経験者(民俗)	富山民俗の会幹事
6		矢野 勝也	小学校長会	呉羽小学校校長
7	H30.2.1 新任	竹本 泉	中学校長会	山田中学校校長
8	H30.2.1 新任	橘 真理子	学識経験者(生涯学習)	市社会教育委員
9	H30.2.1 新任	布村 徹	学識経験者(歴史)	富山近代史研究会員

●富山市民俗民芸村条例

第10条 博物館法第20条の規定に基づき、富山市民俗民芸村運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、委員会が任命する。
- 3 協議会の委員の定数は、10人以内とする。
- 4 委員の任期は2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

【定数 10名】

任期:平成28年2月1日～平成30年1月31日

旧委員(参考)

		氏名	推薦団体等	役職名
1	会長	水木 省三	学識経験者(民芸)	日本民藝協会元常任理事
2	会長職務 代理者	浅地 豊	学識経験者(美術)	森記念秋水美術館館長
3		高柳 恵理子	市PTA連絡協議会	市PTA連絡協議会副会長
4		藤木 一仁	市公民館連絡協議会	市公民館連絡協議会副会長
5		安カ川 恵子	学識経験者(民俗)	富山民俗の会幹事
6		矢野 勝也	小学校長会	呉羽小学校校長
7	(退任)	新夕 雅彦	中学校長会	和合中学校校長
8	(退任)	河原 順子	学識経験者(生涯学 習)	前市社会教育委員
9	(退任)	木本 秀樹	学識経験者(歴史)	越中史壇会副会長

富山市郷土博物館協議会委員

【定数 12名】

任期 平成30年2月1日～平成32年1月31日

新委員

		氏名	推薦団体等	役職名
1		米原 寛	学識経験者（歴史）	越中史壇会会長
2		梶田 敬次郎	学識経験者（茶道）	お城の茶会世話人
3		久保 尚文	学識経験者（歴史）	大山歴史民俗研究会会長
4		竹島 慎二	学識経験者（歴史）	富山近代史研究会会長
5		鈴木 景二	学識経験者（歴史）	富山大学教授
6		片岸 昭二	学識経験者（美術）	南砺市立福光美術館長
7		中川 美彩緒	学識経験者（美術）	富山県水墨美術館長
8	H30.2.1 新任	山本 成子	学識経験者（美術）	高岡市美術館学芸課長
9		橘 真理子	学識経験者 （生涯学習）	前富山市立図書館長
10	H30.2.1 新任	橋本 浩一	市小学校長会	東部小学校長
11	H30.2.1 新任	山木 恵一	市中学校長会	大泉中学校長
12		河上 仁栄	市PTA連絡協議会	市PTA連絡協議会長

●富山市郷土博物館条例

第11条 法（博物館法）第20条の規定に基づき、富山市郷土博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、委員会が任命する。
- 3 協議会の委員の定数は、12人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

【定数 12名】

任期 平成28年2月1日～平成30年1月31日

旧委員（参考）

		氏名	推薦団体等	役職名
1	会長	米原 寛	学識経験者（歴史）	越中史壇会会長
2	副会長	梶田 敬次郎	学識経験者（茶道）	お城の茶会世話人
3		久保 尚文	学識経験者（歴史）	大山歴史民俗研究会会長
4		竹島 慎二	学識経験者（歴史）	富山近代史研究会会長
5		鈴木 景二	学識経験者（歴史）	富山大学教授
6		片岸 昭二	学識経験者（美術）	南砺市立福光美術館長
7		中川 美彩緒	学識経験者（美術）	富山県水墨美術館長
8	（退任）	原口 志津子	学識経験者（美術）	富山県立大学教授
9		橘 真理子	学識経験者 （生涯学習）	前富山市立図書館長
10	（退任）	武野 律子	市小学校長会	中央小学校長
11	（退任）	伊藤 満	市中学校長会	新庄中学校長
12		河上 仁栄	市PTA連絡協議会	市PTA連絡協議会長

富山市ガラス美術館協議会委員

【定数 10名】

任期：平成30年3月22日～平成32年3月21日

新委員

		氏名	推薦団体等	役職名
1	H30.3.22 新任	温井 喜央	本市の美術の振興に資する活動を行う者 (日本画家)	富山市美術作家連合会長
2	H30.3.22 新任	大村 俊二	学識経験 (ガラス造形)	武蔵野美術大学教授 (工芸工業デザイン学科)
3	H30.3.22 新任	秋元 雄史	学識経験 (現代美術)	東京藝術大学大学美術館長 金沢21世紀美術館特任館長
4		中井 敏郎	本市の美術の振興に資する活動を行う者 (経済界)	(一社)富山県薬業連合会長 富山商工会議所 常議員 東亜薬品株式会社 代表取締役社長
5		宮廻 正明	学識経験 (保存修復学)	東京藝術大学大学院教授 社会連携センター長
6		柳原 正樹	学識経験 (近代・現代美術、日本画)	(独立行政法人)国立博物館理事長 京都国立近代美術館長
7	H30.3.22 新任	本田 敏也	学校教育関係	富山市小学校長会長 速星小学校長
8	H30.3.22 新任	濱谷 一男	学校教育関係	富山市中学校長会長 奥田中学校長
9	H30.3.22 新任	中村 誠	公募委員	
10	H30.3.22 新任	渡辺 実	公募委員	

●富山市ガラス美術館条例

第20条 博物館法第20条の規定に基づき、富山市ガラス美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に寄与する活動を行う者、本市の美術の振興に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、委員会が任命する。
- 3 協議会の委員の定数は、10人以内とする。
- 4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

【定数 10名】

任期:平成28年3月22日～平成30年3月21日

旧委員(参考)

		氏名	推薦団体等	役職名
1	(退任)	宇津 孝志	本市の美術の振興に知る活動を行う者 (彫刻家)	富山市美術作家連合会長
2	(退任)	柏木 博	学識経験 (近代デザイン史)	武蔵野美術大学教授
3	(退任)	土屋 良雄	学識経験 (ガラス工芸史)	サントリー美術館企画委員 日本ガラス工芸学会理事
4		中井 敏郎	本市の美術の振興に資する活動を行う者 (経済界)	(一社)富山県薬業連合会長 富山商工会議所 常議員 東亜薬品株式会社 代表取締役社長
5	副会長	宮廻 正明	学識経験 (保存修復学)	東京藝術大学大学院教授 社会連携センター長
6	会長	柳原 正樹	学識経験 (近代・現代美術、日本画)	(独立行政法人)国立博物館理事長 京都国立近代美術館長
7	(退任)	浅井 修平	公募委員	
8	(退任)	岩崎 けい子	公募委員	

富山市ガラス作品等収集審査会委員

【定数 5名】

任期:平成30年2月24日～平成32年2月23日

新委員

		氏名	推薦団体等	役職名
1	H30.2.24 新任	島 敦彦	学識経験者 (現代美術)	金沢21世紀美術館長
2		池田 まゆみ	学識経験者 (美術工芸史)	北澤美術館 主席学芸員 日本大学芸術学部 非常勤講師
3		土田 ルリ子	学識経験者 (ガラス工芸史)	サントリー美術館 学芸副部長
4		藤原 信幸	学識経験者 (ガラス造形)	東京藝術大学大学院ガラス造形研究室教授
5		雪山 行二	学識経験者 (近代・現代美術)	富山県美術館長

●富山市ガラス美術館条例

第13条 美術館におけるガラス作品及び関連資料（以下「ガラス作品等」という。）の適正な収集を図るため、富山市ガラス作品等収集審査会（以下「審査会」という。）を置く。

- 2 審査会の委員は、ガラス作品等に関して学識経験を有する者の中から、委員会が任命する。
- 3 審査会の委員の定数は、5人以内とする。
- 4 審査会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

旧委員(参考)

【定数 5名】

任期:平成28年2月24日～平成30年2月23日

		氏名	推薦団体等	役職名
1	(退任)	秋元 雄史	学識経験者 (現代美術)	金沢21世紀美術館特任館長 東京藝術大学大学美術館長
2		池田 まゆみ	学識経験者 (美術工芸史)	北澤美術館 主席学芸員 日本大学芸術学部 非常勤講師
3		土田 ルリ子	学識経験者 (ガラス工芸史)	サントリー美術館 学芸副部長
4	会長	藤原 信幸	学識経験者 (ガラス造形)	東京藝術大学大学院ガラス造形研究室教授
5		雪山 行二	学識経験者 (近代・現代美術)	富山県美術館長

富山市猪谷関所館運営協議会委員

【定数 10名】

任期:平成30年2月1日～平成32年1月31日

新委員

		氏名	推薦団体等	役職名
1		立石 浩一	市小学校長会	神通碧小学校 校長
2		高田 敏成	細入自治会連合会	細入自治会連合会 会長
3		吉岡 暢大	(株)ほそいり	課長 (楽今日館副支配人)
4		桐井 昇子	学識経験者(美術)	県立水墨美術館学芸員
5	H30.2.1 新任	加藤 敏一	学識経験者(歴史)	猪谷関所館 前館長

●富山市猪谷関所館条例

第10条 関所館の運営に対して委員会の諮問に応じ意見を述べるため、富山市猪谷関所館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

旧委員(参考)

【定数 10名】

任期:平成28年3月1日～平成30年1月31日

		氏名	推薦団体等	役職名
1		立石 浩一	市小学校長会	神通碧小学校 校長
2	副会長	高田 敏成	細入自治会連合会	細入自治会連合会 会長
3		吉岡 暢大	(株)ほそいり	道の駅細入 駅長
4		桐井 昇子	学識経験者(美術)	県立水墨美術館学芸員
5	退任 (会長)	宮口 雅博	学識経験者(歴史)	猪谷関所館 元館長

大山歴史民俗資料館運営協議会委員

【定数 5名】

任期 平成30年2月1日～平成32年1月31日

新委員

		氏名	推薦団体等	役職名
1		久保 尚文	学識経験者（歴史）	大山歴史民俗研究会会長
2		梅沢 昭俊	学識経験者（歴史）	元小学校長
3		細田 かずゑ	有識者	元大山地区女性団体連絡協議会会長
4		山森 潔	大山地域自治振興会 連合会	副会長
5		土田 泰美	市小学校長会	小見小学校長

●富山市大山歴史民俗資料館条例

第8条 資料館の運営に対して館長の諮問に応じ、意見を述べるため、富山市大山歴史民俗資料館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会の委員の定数は、5人以内とする。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

旧委員（参考）

【定数 5名】

任期 平成28年2月1日～平成30年1月31日

		氏名	推薦団体等	役職名
1	会長	久保 尚文	学識経験者（歴史）	大山歴史民俗研究会会長
2	会長代理	梅沢 昭俊	学識経験者（歴史）	元小学校長
3		細田 かずゑ	有識者	元大山地区女性団体連絡協議会会長
4		山森 潔	大山地域自治振興会 連合会	副会長
5		土田 泰美	市小学校長会	小見小学校長

「平成 29 年度富山市中学校 3 年生学力調査」結果の概要について

資料別紙

生誕一五〇年記念展

最後の浮世絵師

尾竹国一



平成30年

2月3日 [土] ▼ 4月15日 [日]

※会期中、一部展示替えがあります

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 3月12日（月）

観覧料 大人210円（160円） 高校生以下は無料

※（内は、20名以上の団体料金）

主催 富山市、富山市教育委員会

TOYAMA MUNICIPAL FOLK MUSEUM

富山市郷土博物館

AMAZING TOYAMA

生誕一五〇年記念展

最後の浮世絵師

お たけ くに かず
尾竹国一

浮世絵版画は、江戸時代の庶民が生み育てた絵画であり、富山町でも、天保年間（一八三〇～四四）頃には活版で発行されるようになりました。この富山浮世絵版画は、錦絵や絵紙などと称されましたが、主な用途が売薬進物であったため、現在では「売薬版画」と呼ばれています。

明治二十年代に入ると、東京では浮世絵版画の衰退が目立ち始めましたが、富山では売薬版画の発行が最盛期を迎えようとしていました。それに合わせるように明治二十三年頃、富山にやってきたのが、新潟出身の絵師、尾竹国一（後の越堂）です。明治三十二年に富山を離れるまで、役者絵を中心に多数の作品を手がけ、明治時代の売薬版画を代表する絵師となっています。また、その経歴は浮世絵の終焉期とも重なっており、豊原国周や小林清親らとともに、「最後の浮世絵師」と呼ぶことができます。今回は、国一が描いた役者絵を中心に、売薬版画など約三十点を展示します。「最後の浮世絵師」尾竹国一の富山の仕事をぜひご覧ください。



義経千本桜
(富山市売薬資料館蔵)
[国指定重要有形民俗文化財]



雲雀山姫捨松
(富山市売薬資料館蔵)
[国指定重要有形民俗文化財]



蝶千鳥夜討曾我
(富山市売薬資料館蔵)
[国指定重要有形民俗文化財]



俳優見立水湖伝
(当館蔵)

会 期 平成30年2月3日(土)～4月15日(日)
休館日 3月12日(月)
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

観覧料 大人210円 高校生以下は無料
※この料金の、常設展示もご覧いただけます。

学芸員による展示解説会

2月25日(日)、3月18日(日)、
4月15日(日) いずれも午後2時より
予約不要、参加無料(ただし、入館料が必要です)

関連企画

富山県水墨美術館 「生誕140年 尾竹竹坡展」

尾竹国一の弟竹坡の初めての回顧展。その画業の全体像を、初期から晩年まで代表的な作品で紹介いたします。

会 期 平成30年2月16日(金)～3月25日(日)
休館日 月曜日、3月22日(木)
観覧料 一般900円、大学生650円

■アクセス

北陸新幹線・あいの風とやま鉄道 富山駅から徒歩約10分
地铁バス「城址公園前」下車 徒歩2分
市内電車環状線「国際会議場前」下車 徒歩3分
富山空港より連絡バスで20分
北陸自動車道 富山ICより車で約15分

■駐車場

当館には専用駐車場はありません。最寄りの有料駐車場をご利用ください。最も近いのは城址公園地下駐車場です。



富山市郷土博物館

TOYAMA MUNICIPAL FOLK MUSEUM
〒930-0081 富山市本丸1-62 富山城址公園内
TEL:076-432-7911 FAX:076-432-8060
http://www.city.toyama.toyama.jp/etc/muse/

北陸のガラス作家たち

多様化するガラス造形

Glass Artists from Hokuriku Diversifying Glass Art

市川篤、川辺雅規、岸本耕平、小暮紀一、佐野曜子、高木基栄、津守秀憲、藤掛幸智
ヴァーツラフ・レザーチユ、安田泰三、山野宏、横山翔平（計12名、五十音順）

市川篤《月影の軌道》2016年作家蔵 撮影：市川篤



横山翔平《孕01》(部分) 2015年作家蔵

富山市ガラス美術館

2018年2月17日〔土〕—3月25日〔日〕

会場：展示室1・2（富山市ガラス美術館2階）

開場時間：午前9時30分から午後6時まで※初日のみ午後1時開場

（金・土曜日は午後8時まで、入場は閉場の30分前まで）

閉場日：2月21日（水）、3月7日（水）、3月22日（木）

観覧料：一般500円（300円）、大学生300円（200円）

※小中高生未就学児無料※（は前売り、団体料金 ※本展の観覧券で常設展もご覧いただけます。

前売りチケット取り扱い（一般のみ）

アイツナビ ☎076・432・3113 アスネットカウンター ☎0764455511

TOYAMAキラリ1階総合案内

主催：富山市ガラス美術館

後援：北日本新聞社、富山新聞社、福井新聞社、北國新聞社

北陸のガラス作家たち

多様化するガラス造形

Glass Artists from Hokuriku

Diversifying Glass Art



本展では、富山、石川、福井の北陸3県で学び育ち、この地域を中心に活躍する12名のガラス作家たちを紹介いたします。

北陸は伝統工芸やモノづくりの風土が息づく地域ですが、現代ガラスを含む新しい造形分野にも目を向け、人材育成をはかり、新たな取り組みを試みている地でもあります。これは1980年代から今日に至るまで、ガラス関連施設として、制作工房や教育施設、美術館などが次々に整備され、国内外から多くのガラス作家たちが集まってきたことによるものです。

本展で紹介する作家たちも、この地で多くの出会いや修練を経て感性を培い、ガラスという素材が持つ様々な可能性を追求してきました。

彼らは常温で石のように固まっているガラスの量塊性と溶けたガラスの流動性を対比させたり、古くから用いられてきたガラスの技術を新しい発想の下に組み替えたりして、斬新な表現を成し遂げています。また、ガラスに様々な物質を溶かし込んで、物質が変容するプロセスを表現することや、自然現象が生み出す色彩を再現しようとする試みもあります。

あくなき探求心から生まれた北陸の作家たちの、独創的で多様な造形表現の成果をお楽しみください。



山野宏
《From East to West "Scene of Japan #129"》
2015年作家蔵

関連プログラム

■出品作家によるアーティストトーク

2月17日(土)午後2時～ 山野宏

3月17日(土)午後2時～ 市川篤

午後3時～ 横山翔平

会場：富山市ガラス美術館 2階 ロビー、展示室1・2

■ライブラリー&ミュージアムコンサート

3月24日(土)午後1時30分～(1時間程度)

会場：富山市ガラス美術館 2階 ロビー

■学芸員によるギャラリートーク

2月24日(土)、3月10日(土)、3月24日(土) 各回午後3時から

会場：富山市ガラス美術館 2階 展示室1・2

※関連プログラムはいずれも事前申込不要・参加無料。

ただし、展示室への入場には本展観覧券をご提示下さい。

※内容は都合により変更となる場合があります。最新の情報は

富山市ガラス美術館のウェブサイトをご確認ください。



津守秀憲《時の狭間'15-1'》2015年作家蔵



佐野耀子《織の大鉢》2015年作家蔵 撮影:佐野猛



川辺雅規《Cocoon～明日への想い～》2013年作家蔵
撮影:川辺雅規



ヴァーツラフ・レザーチュ《Stairs》2017年作家蔵
撮影:岡村喜知郎



交通アクセス

○富山駅より

・徒歩20分

・市内電車南富山駅行きに乗り、「西町(にしちょう)」下車、徒歩1分

・市内電車環状線(セントラム)に乗り、「グランドプラザ前」下車、徒歩2分

○富山空港より

・地鉄バス(富山空港線)「総曲輪(そうがわ)」下車、徒歩4分

お問い合わせ:

〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

TEL 076-461-3100 FAX 076-461-3310

<http://www.toyama-glass-art-museum.jp>



TOYAMA 富山市
キラリ ガラス美術館
TOYAMA
GLASS ART MUSEUM